

# パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2010年8月1日

83号

## エコツーリズムの聖地を訪ねる旅



パラグアイ、チャコ地方 レダ基地に住むカピバラの家族（7月撮影 飯野氏）

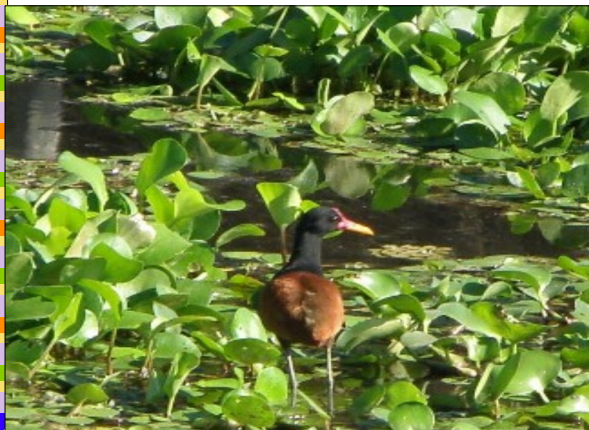
南北米福地開発協会では南米、パンタナールの一面に位置するパラグアイ国、チャコ地方、レダにおいて環境保全、生態系の保護を目指し、活動を始めて来ました。十年の間、固い粘土層でかつて海であった所が隆起した所で、塩分も所どころ、多い困難な土地に適する樹を探し、植林を行って来ました。現在は一万余本を超える樹が順調に育ち、各種の鳥が飛来し巣を作るようになり、また、訪れる動物も増えて来ました。

上の写真は日本でも人気のあるカピバラの家族で、七月に久しぶりにレダの敷地内の支流沿いに現れました。十年前まではパラグアイ川本流で度々、見ることが出来ましたが近年はほとんど姿を見せることはありませんでした。生態系維持、希少動物の保護を成すには、近隣のインディヒナの村の生活改善を成さない限り、貧しく狩猟で生きている村人に希少動物を保護してと訴えても効果はほとんどありません。

当協会では近隣の村に学校を建て、教育環境を整えながら村人が自発的に生活を向上させる道を援助し、村で植林活動をも推進し、現在は村が狩猟から農業に移行できるような援助を開始しました。

環境保存と希少動物の保護には忍耐強い継続した働きかけが必要で、多くの方の支援と関心を必要としています。当協会では十月二日から十一日にかけて『エコツアーの聖地を訪ねる旅』を企画しました。都会の雑踏から解放され、神様の創造された美しい自然を堪能し、絶滅寸前の希少動物に出会える貴重な機会を体験して下さい。

パンタナールは日本からは見れば、地球の真裏にある世界最大の湿地帯で世界でもっとも貴重な生態系の宝庫で、世界遺産にもなっています。







## エコツアー日程 (10月)

2日 成田出発

3日 パラグアイ首都アスンシオン到着

4日ー7日 パンタナール地域  
(レダ滞在)

滞在中：船でパンタナール景観を見る

釣り、乗馬、馬車にのり自然観察

記念植樹、鳥の観察

インディアン村訪問 (異文化体験)

7日ー8日 世界最大の滝、

世界遺産イグアスの滝見学

南米の全ての美しい鳥を集めた

バードパーク見学

10日 日本到着

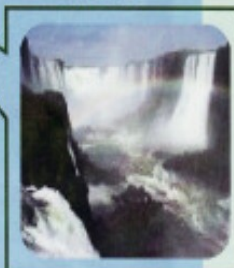
詳しくは南北米事務局に

お問い合わせください。

044-829-2821



## 南米大陸地図



インディヒナの村人も待っています。



キッチンスタッフも準備しています



## レダでの最近の主な進展

①レダでは念願の魚の養殖を始めるため、生け簀作りが始まった。現在は二つの生け簀を作り、パクーの養殖をする計画です。すでにオリンポ市ならびにドイツ人移住地では養殖が始まっており、レダで成功すれば、レダと同じ、土壌、環境にある近隣のインディヒナの村でも養殖を始めることが出来、彼らの生活の糧となると期待しています。特にパクーは雑食で、レダ近辺に無数に成長するヤシの樹の実を好み、それ以外にも餌を現地から調達する事が難しくないのでインディヒナの村でも成功する可能性は大きいと考えられます。鳥によって稚魚が食べられないためには池の深さを二mにする必要があるようです。一つの生け簀に四〇〇〇匹の魚を養殖できます。

②古市君、平野君、そして武藤君の三人の日本の青年がレダでの長期間奉仕に活躍しています。青年達は体力も、意欲もあり、熱心で作業を覚えるのも早く、また、近隣のインディヒナの村からレダに働きに来ている労働者とも年齢も近く、すぐに友人(アミーゴ)になり、覚えたスペイン語での交流も積極的に行っています。

レダで奉仕する青年達はこの貴重な機会を有効に使うため、午前は労働、午後の時間はチリから指導に来ているウイルソン氏からスペイン語の講座を受けています。

レダ開拓を担う青年が今後も多く日本だけでなく、世界から集まり、南北米福地開発協会の目的である世界の人々がともに働き、助け合い、人間と自然の調和をなす環境を作るため来ることと思います。現在、レダに滞在する青年がそのための道筋を作ってくれるとレダに滞在する飯野先生、中田先生始め先輩方が教育に投入しております。事務局ではレダで奉仕を希望する青年を募集しています。希望者は連絡ください。



元気に生け簀作りに励む大山さん、武藤君と現地の労働者



今後のレダを相続する青年研修の先駆けとして、二十代前半の若者が三人(古市、武藤、平野)揃ったので、研修の試みが始まりました。午前中は、農作業、午後はスペイン語講座、一日二時間勉強、(ウイルソンさん担当)、家畜の世話、そして乗馬や釣りの訓練も始まりました。既にレダ滞在半年たった古市君を中心に三人が仲良く懸命に学び、汗しています。



活動の一環としてエスペランサの学校が2週間冬休みというので、その間に汚れた学校の壁のペンキ塗りをする為、三名の若者を連れて上山先生がレダを出発。昨日はまず下見を兼ねて出かけたが、塗る前に4時迄大掃除作業に追われた。十三日から本格的にペンキ塗りが出来る労働者と一緒に作業が始まります。また、パンタナールでなければ体験できないアナコンダ(二m半)に初めて触れました。大きいのは十mにもなり、時には釣り人を飲み込むことがあると聞いてびっくりしていません。毒性はありません。



何故、今、地球に樹を植えないければならないか？  
三回講座シリーズ

地球の緑を守る会特別集会案内  
7月十一日、地球の緑を守る会理事長を迎え、第一回の講座は七十名近い参加者が熱心に聴講しました。  
第二回目は八月一五日(日)左記のように行われます。

### 〔第一講座〕

間違いの内環境対策は生態系の仕組を正しく理解することから

★生態系の原理は多様性」と共生

★生態系のすべてのメンバーは相互に深く関係している、それが欠けてもうまく機能しなくなる(地球上に無駄なものはない)

★人間も他の動物たちと同様、生態系の一員である以上、生態系の主役である緑の植物の寄生者の立場でしか持続的には生きていけない

### 〔第二講座〕

《なにが真に有効な環境対策か》

★CO排出量規制(対応：太陽光、水力、風力、地熱などのクリーンエネルギーの普及)

★バイオエタノールの活用

★森林の再生および創造

★環境問題の行動原理

場所：溝の口、大山会館

日時：八月十五日午後二―四時

参加費：千円(資料代含む)

「申し込みは事務局に」

第十回国際協力青年奉仕隊への参加者募集が多数あり、応募した全ての方が提出した小論文が素晴らしい事務局として選ぶことが難しく、くじ引きで参加者を選ばざるを得ませんでした。  
本来、十名を選抜する予定でしたが今年は支援が例年に比して厳しい現状です。青年達の世界に出て、奉仕をしたいとの意欲を感じ、十二名の隊員を選ぶことになりました。今年、残念ながら選抜に漏れた方も来年に期待し、再度、申請して下さいよう願います。

「参加の動機と将来の夢」

『私は今、大学二年生です。教師になることを目標にし、日々勉強の毎日です。参加の動機は、私たちは『世界』という大きな枠での大家族なのだ、ということを実感したいと強く思ったからです。高校生の頃、大学受験を考えていたこともあり、自分はどんな人になりたいのか、何をしたいのかを考え、悩んだ時期がありました。なかなか答えにたどり着けなかった時、とにかく色々なことにチャレンジしよう、と思い、勉強も部活も力を入れ、今自分に出来ることを一生懸命しました。そこで感じたことは、一つの目標に向かってみんなで努力することの素晴らしさ、その間で築いた関係性の良さです。だから私は、一人でも多くのひと、特にこれからの未来を築いていく中高生とともに世界の未来をみたいと感じ、教師になろうと思いました。その前にまず私自身が広い世界を知り、輝く世界を創る一人一人だという自覚をもちたいと思い、今回の参加を希望しました。』

## 第10回国際協力青年奉仕隊支援のお願い

支援はお金だけでなく、未使用の切手、はがき印紙でも支援の大きな助けになります。

事務局の口座か事務局へ

今年はマヨ村とバイアネグロ市にて植樹活動と学校の修復をする計画です。



第九回青年奉仕隊植樹

地球家族として  
自然を守りましょう

### 南北米福地開発

協会会員の募集

南米、パラグアイパンタール地域へのエコツアーならびに植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。

会費は月五〇〇円、毎月、パンタール通信を送ります。また、各種のセミナー、エコツアー等の案内をいたします。

### 南北米福地開発協会 事務局

〒二一三〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区

溝口三十一番十五

岩崎ビル四F

電話

Fax 〇四四―八二九―二八二一

会費納入 郵便口座

一〇一八〇一七七八〇四七一

代表 柴沼邦彦

E-MAIL office@asd-nsa.jp

ホームページ

http://www.asd-nsa.jp